



平成29年9月15日
海上保安庁

西之島の火山活動状況について（9月13日観測）

9月13日、当庁羽田航空基地所属航空機(MA722)により、西之島の火山活動の観測を行いました。

午後2時8分から約1時間の観測中に噴火活動は確認できませんでしたが、噴火口東側内壁から白色噴気が高さ数m上がるのを確認しました（図1、2参照）。

また、溶岩流先端の高温部は確認できませんでした。溶岩流の海への流入は止まっていると考えられます（図3参照）。

西之島においては、4月20日に新たな噴火を確認し、最近では8月2日に火砕丘中央の噴火口からの噴火を確認しています。

海上保安庁では今後も注意深く監視を継続するとともに、引き続き航行警報により付近航行船舶に注意を呼びかけています。



図1 西之島全景（9月13日撮影）



図2 火砕丘中央の噴火口東側内壁からの白色噴気（9月13日撮影）

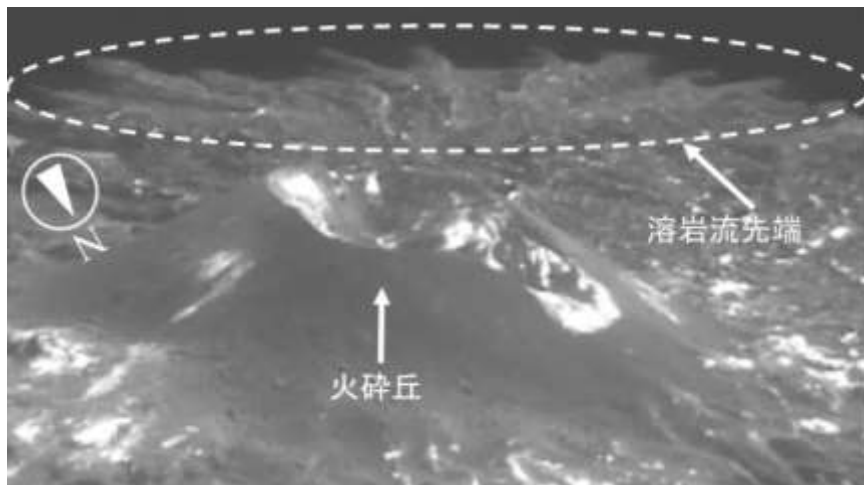


図3 熱画像（火砕丘と溶岩流先端）（9月13日撮影）